

2021年度 第52回中部日本ジュニア水泳選手権大会

2021年9月25日(土)・26日(日) 日本ガイシアリーナ(50m)

予選

順位	氏名	チーム名	学年	タイム	決勝	PB
No.1 女子 小学生の部 200m 自由形 予選						
3	玉置 侑衣	1toSWIM	小6	2:17.05	決勝へ	✕
13	三好 緩菜	1toSWIM	小6	2:26.79	落選	✕
No.13 女子 小学生の部 50m 自由形 予選						
38	丹所 潤瑠	1toSWIM	小4	31.15	落選	✕
47	玉置 侑衣	1toSWIM	小6	31.40	落選	✕
No.15 女子 中学生の部 50m 自由形 予選						
51	西脇 まな	1toSWIM	中3	29.46	落選	✕
No.17 女子 小学生の部 200m 個人メドレー 予選						
14	玉置 侑衣	1toSWIM	小6	2:41.17	落選	✕
No.22 男子 小学生の部 50m バタフライ 予選						
60	石川 欧亮	1toSWIM	小6	34.57	落選	✕

決勝

順位	氏名	チーム名	学年	タイム	BP
No.25 女子 小学生の部 200m 自由形 決勝					
3位	玉置 侑衣	1toSWIM	小6	2:13.84	
No.69 女子 小学生の部 400m 自由形 T決勝					
2位	玉置 侑衣	1toSWIM	小6	4:40.48	
8	三好 緩菜	1toSWIM	小6	5:03.29	
9	丹所 潤瑠	1toSWIM	小4	5:04.73	✕

今年で52回目を迎える歴史ある大会、中部ジュニア水泳選手権大会が開催されました。

この大会は、中部9県から精鋭が集い競う大会のため、出場するための制限タイムが厳しく設定されており、予選から白熱したレースが展開されます。また、夏の全国大会で活躍した選手が招待されることもあり、普段の愛知県の競技会からはるかにレベルの高い記録が生まれる大会でもあります。

その中、玉置侑衣選手が、200m自由形で予選を突破し、決勝では自己ベストを大きく更新。前半の100mのラップタイムが、100m自由形のベストさえ上回るという、積極的なレースを見せ、3位に入賞。しかし、2位との差がわずかに0.02秒だったことから、翌日の400m自由形(タイムレース決勝)では、「違う色のメダルを!!」と意気込んでいました。結果また、また好タイムで泳ぎ、2位となり目標達成。県外に新たなライバルを見つけたことで、次の目標へ向かう気持ちを奮い立たせてくれたのではないのでしょうか。

この400m自由形タイムレース決勝には三好緩菜選手(8位)と丹所潤瑠選手(9位)も出場。小学生にとっては過酷な400m自由形、標準記録を突破できたのは僅か16名、うち3名を1toSWIMの選手が占めたことから、「1toSWIMの選手はしっかりと泳いで基礎体力とテクニックを作り上げている」と、県内外のチームからも注目される結果となりました。

夏のシーズンが終わり、次は2022年春に、東京で開催される「全国ジュニアオリンピック」への出場権をかけた日々が始まります。

大きな目標が、もう目の前まで近づいてきている選手は、制限タイムを突破できるか、というプレッシャーとの戦いが待っていますが、この夏の練習を土台に、さらなる強化に取り組みます。来春には、きっと東京で1toSWIMの選手がレースに出場する。そう確信させてくれる2日間でした。

これからの秋冬は、たくさんの試合が開催されるはず。応援よろしくお願い致します!!

報告：加藤

